



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> mail@ken-nonoyama.com

No.731 2024.9.18

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

補聴器補助増額へ

北区議会第3回定例会 健康福祉委員会で報告

13日の健康福祉委員会で、今年4月から始まった高齢者への補聴器購入費補助について、申請者が想定を上回ったとして補助増額の補正予算が提案されました。(のの山けん)

委員会は冒頭、建設委員会から健康福祉委員会へと所属変更した、私、のの山けんを、当委員会の副委員長に推挙していただきました。今後とも、公正・公平な委員会運営と、区民の命と健康を守る区政の実現のために力を尽くす決意です。

高齢者の補聴器購入補助では、申請者が当初予定していた約1000人を8月時点で超えたため、1514万8000円の事業費を増額、一人最大7万円の助成金が出る対象が216人分増えることとなりました。

補聴器216人分の補助を増額の補助を増額

委員会の質疑で、日本共産党の宇都宮ゆり議員は、「補聴器助成は、高齢者から大変喜ばれている。補助増額を歓迎するとともに、今後、高齢者だけでなく、補聴器を必要とするすべての人に対象を拡大するよう検討してほしい」と要望しました。

委員会はまた、来年4月より介護保険料、国保料、後期高齢保険料の延滞金を徴収するとの報告がありました。これら保険料の延滞金は、23区で不徴収としてきた経緯がありましたが、東京都の指導により、徴収する区が増加しています。

保険料未納者から延滞金を徴収

延滞金徴収について、日本共産党は、困窮している区民への窓口での丁寧な対応を求めましたが、自民、維新の委員からは、「公平性の観点から徴収は当然」「なぜもっと早く徴収に踏み切れなかったのか」などの発言がありました。



岩淵町で防災訓練

15日、八雲神社で開かれた岩淵町自治会の防災訓練に参加。9月とは思えないほどの猛暑となりましたが、心臓マッサージやAED、消火器の使い方講習、スタンドパイプを使った放水体験など、住民のみなさんとともに、最後までしっかり訓練を行いました。(のの山けん)



個人質問

山崎 たい子 議員

何も対策せず4度上昇す
洪水発生頻度は約2倍、
が2度上昇した時には、
リオで、21世紀末、気温

境が有する多様な機能を
災機能を回復し、自然環
よって失われた自然の防
国際的には、都市化に

とを区に提案しました。
公園の透水性を高めるこ
道の緑化、③道路や土地、
づける、②補助88号線沿
にグリーンインフラを位置

ました。
こととなり
を実感する
れ、気候危機の恐ろしさ
区でも落雷やゲリラ豪雨
警戒アラートが続き、北
この夏も連日、熱中症

ち人類にとって重大かつ喫
まさに、今を生きる私た
候危機、水害への対策は、
なると言明しています。気
れば、発生頻度は4倍に

活用して治水をすすめて、
持続可能で魅力ある国土
や地域づくりを進めるグ
グリーンインフラが大きな潮
流になっています。
①各種まち
づくり事業
質疑では、

グリーンインフラの推進を

緊の課題です。

にグリーンインフラを位置



個人質問

宇都宮 ゆり 議員

「難聴者」に区別されて
聴力がわずかに残っている
聴者」、聞こえにくいのが、
こえなくなったり、まったく聞
くくなったり、まったく聞

図っています。
とのコミュニケーションを
記」という方法で、他者
本語対応手話や「要約筆

した。
り組み状況を調査、研究
区は「先行自治体の取
区民への理解促進を要望。

困で聞こえに
故などの原
ストレス・事
が聞こえていたが、病気・
う者」、生まれた時には耳
得する前に失聴した「ろ
は、生後、音声言語を獲

こうした認識に立って、
区の総合窓口で透明ディ
スプレイを設置すること
や、中途失聴者、難聴者
を対象にした手話講習会

の開催、聴
覚障がいの違
いについての

中途失聴・難聴者への支援を



民商夜のオリエンテーリング

十条で食べ歩き

15日、恒例の民商夜オリ。十条の3軒のお店でスペアリブ、おでんなど食べ歩きを楽しみました。(のの山けん)